

## 関西とミャンマーの関係強化に向けて

関経連は今年2月に、5回目となるミャンマーへの訪問団を派遣し、テイン・セイン大統領をはじめ政財界首脳との懇談を行った。大統領からその際、ミャンマーへの「投資促進」「人材育成」への協力について、当会に対し期待が示された。当会としては、今後も高い経済成長が見込まれるミャンマーとの関係を強化するため、これまでさまざまな取り組みを行ってきており、ここでは、その主な取り組みを紹介する。

### 「投資促進」への協力

ミャンマーでは現在、インフラや法整備などが急ピッチで進められており、今年9月には日本政府が全面的に後押しするティラワ経済特区が開業するなど、アジアの中でも急速な経済発展が見込まれている。当会では、投資や貿易の拡大を通じて関西とミャンマーがWin-Winの関係で発展していくことをめざし、最新のミャンマーにおけるビジネス環境を会員企業に紹介するため、セミナーなどの情報提供の機会を設けた。

### ■ミャンマー・カンボジアセミナー (5月15日)

日本貿易振興機構(ジェトロ)海外調査部アジア大洋州課の水谷俊博課長代理らを講師に招き、アセアンに進出している日系企業の実態調査に基づく両国のビジネス環境について講演いただいた。水谷氏は、「日本企業のミャンマーへの投資意欲は依然として高く、ミャンマーの市場規模や成長性に魅力を感じている企業が多い」と述べた。

また、三菱東京UFJ銀行国際業務部の金井宏樹調査役は、日本企業のミャンマーへの進出事例や投資上

の留意点について、「技術力のある日本企業は、先行して商品の品質基準などの採用を当局に働きかけることで、有利な事業環境を構築することができる」などと説明した。

### ■関経連インダストリアルツアー (8月31日)

関西の有望分野である環境・防災における技術についての理解を深めてもらい、ミャンマーとして自国の技術展開につなげていただくことを目的に、インダストリアルツアーを実施。ミャンマー商工会議所連合会のウィン・アウン会頭とミャンマー国家計画経済開発省投資企業管理局のミョー・ミン課長の参加も得て、大阪市環境局舞洲工場およびHitz防災ソリューションラボラトリーを訪問した。廃棄物焼却発電施設や市街地の洪水発生を想定した自立式防潮堤の実験の様子などを視察し、ウィン・アウン会頭からは、日本の高度な技術を知る貴重な機会になったとの声が聞かれた。



Hitz防災ソリューションラボラトリーにて

### ■ミャンマーシンポジウム～注目が集まるミャンマーの魅力とビジネスチャンス～(9月1日)



ミャンマーシンポジウムの様子

りそなアジア・オセアニア財団および国際機関日本アセアンセンターとともにシンポジウムを開催、約270名の参加があった。

講演では、ミョー・ミン課長がミャンマー政府の重点施策を紹介し、特にビジネス環境の改善に取り組んでいることを強調した上で、「海外からの投資の受け入れを通じて工業国への発展をめざしている」と述べた。またウィン・アウン会頭は、ミャンマーの地政学的優位性や経済特区における税制優遇などのインセンティブを紹介し、ミャンマーへのさらなる投資を関西企業に呼びかけた。その後のパネルディスカッションでは、この両名に、ミャンマー日本商工会議所の井土光夫会頭、第一コンピュータリソースの赤畑俊一取締役、そしてジェトロの水谷課長代理

が加わり、ミャンマーにおけるビジネスの現状と今後の展望について、活発な討議が行われた。

## 「人材育成」への協力

ミャンマーでは、民主化および市場経済化の動きが進展し、持続的な経済発展が期待されているなかで、高度かつ国際的な経営知識や技術・ノウハウを有する人材の確保・育成が喫緊の課題となっている。そこで当会は、ビジネスアイデアコンテストなど、ミャンマーの人材育成に資する取り組みを行った。

### ■「関経連—MJC ビジネスアイデアコンテスト」(8月9日)

ミャンマーの経済発展を支える産業中核人材の育成を現地で行っているミャンマー日本人材開発センター(MJC)と協力し、ヤンゴンにてビジネスアイデアコンテストを開催した。

本コンテストは、MJCの研修の受講者を対象に、ビジネスにおける企画・立案力や競争心などのビジネス感覚を高める一助とするために実施。審査基準には、独創性、実現

可能性、社会貢献性などの5項目を設け、最終選考に残った7名の中から入賞者上位3名を決定した。

第1位に選ばれたMs. Sandar Myint(サンダー・ミン氏)は、「関経連アセアン経営研修に参加し、日本のノウハウなどを学び、事業化をはかりたい」との言葉を述べた。



第1位に輝いたMs.Sandar Myint(写真左)

### ■関経連アセアン経営研修(11月9日~13日)

アセアン各国の企業経営者や幹部を対象に、企業人としての人材育成を支援するとともに、関西との交流を深めることを目的に、1980年よりアセアン経営研修を実施している。今年度は、「環境経営」にスポットを当て、先進的な環境活動を行っている企業を訪問し環境関連技術を学ぶインダストリアルツアーなどのプログラムを行った。なお、本研修

にはビジネスアイデアコンテスト第1位のMs. Sandar Myintを招待し、9カ国16名のうちミャンマーから最多となる4名の参加をいただいた。

## さらなる関係強化に向けて

こうした取り組みに対し、ミャンマー商工会議所連合会のウィン・アウン会頭からは、特にビジネスアイデアコンテストについて、「ミャンマーの中小企業育成に貢献するとともに、日本企業にとってもビジネスを発展させる契機になる」と評価する声があった。また、ミャンマーシンポジウムの参加者に対して行ったアンケートでは、そのほとんどからミャンマーの情報収集に有益であったとの回答が寄せられた。

関経連では引き続き、会員企業への情報提供とともに、人材育成に資する取り組みの展開を通じて、関西とミャンマーとの関係強化をはかり、会員企業の事業展開支援につなげていく。

(国際部 森田浩次・杉田龍飛)

## 関経連—MJC ビジネスアイデアコンテスト

### ■選考スケジュール：

募集	第一次選考	最終選考
<b>[4~5月]</b> ビジネスアイデア募集 22名が応募	<b>[6~7月]</b> 7名が第一次選考通過 プレゼンに向けた指導	<b>[8月9日]</b> プレゼン実施 入賞者3名を決定



現地での選考会の様子

### ■審査結果：

順位	テーマ/発表者	概要
第1位	家政婦のための職業訓練学校・職業紹介所の設置 Ms. Sandar Myint(サンダー・ミン氏)	必要な知識やスキルが不足している家政婦を対象に、適切な教育を受ける場を提供し、よい条件で仕事を得られるよう支援する。
第2位	コーヒー・サービス付き図書館の運営 Ms. Sandar Pe Win(サンダー・ペ・ウィン氏)	ミャンマー国民の読書習慣を向上させるため、高品質のコーヒーとともに心地よい図書室空間を提供する。
第3位	ミャンマーの伝統菓子とスナックの販売・ブランド化 Ms. Cho Lei Aung(チャー・レイ・アーン氏)	ミャンマーの伝統菓子を旅行者向けにブランド化し、販売する。